

ブロッコリー(東証JASDAQ・S 2706)

続々と新コンテンツが登場、マーケットの期待が高まる局面に

注目点

KLabと共同開発を行っているスマートフォン向けアクションゲーム「うたの☆プリンスさまっ♪Shining Live(以下シャニライ)」のリリース時期が近づいているとみられる。「AnimeJapan 2017(東京ビックサイト)」にて3月25~26日に先行試遊会を開催。続いて、5月3~5日にブロッコリーガールズショップ(渋谷マルイ)において先行試遊会を開催することを発表した。リリース時期の憶測で、3月から4月初めにかけて株価が大きく乱高下する要因にもなった。

当社は、2015年11月にハピネットに対して新株式を発行し、新コンテンツ開発用資金(40億円)の調達を行っている。この新コンテンツ開発計画に基づき、次の業績のピークを平成29年から平成30年としており、「うたの☆プリンスさまっ♪」に並ぶ新コンテンツについて何らかの発表がなされる時期が迫っているとみている。

近々、シャニライの事前登録開始・リリース、ハピネットとの新コンテンツの発表など、カタリストになりそうなアナウンスがいくつか予想されることから、株価上昇が期待できよう。SBI証券では、業績予想を見直したことに伴い、目標株価を850円から1,000円(2019年2月期予想PER約40倍[SBI証券予想ベース]の水準)に引き上げ、レーティング「強気」を継続する。

当社の経営陣に、中期的(3~5年の間)に、売上高・利益を2倍、従業員給与アップとアグレッシブに業容を拡大しようとの意欲が窺えるようになってきている点を高く評価している。

2017年4月17日

SBI証券 投資調査部シニアアナリスト

田中俊

(継続)

投資評価

強気

目標株価

850円→1,000円

目標株価との乖離率

55.5%

株価(4/14)

643円

時価総額

28,122百万円

発行済株式数

43,736千株

外国人持株比率

3.3%

配当(18/2期予想)

5.0円

PER(18/2期予想)

39.1倍

PBR(18/2期予想)

3.0倍

ROE(18/2期予想)

8.0%

(注)発行済株式数は自己株除く、予想はSBI証券



非連結業績(日本会計基準)											
決算期	売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	当期純利益	前期比	EPS	DPS	ROE
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(円)	(円)	(%)
2015/2 実績	6,256	-7.8	1,470	-31.7	1,484	-31.0	904	-52.6	27.6	6.5	24.1
2016/2 実績	6,429	2.8	1,010	-31.3	989	-33.4	622	-31.2	17.7	4.0	10.0
2017/2 会社予	5,700	-11.3	800	-20.8	800	-19.1	550	-11.6	12.6	4.0	
SBI予	5,800	-9.8	820	-18.8	835	-15.6	560	-10.0	12.8	4.0	6.5
実績	5,692	-11.5	707	-30.0	728	-26.4	479	-23.0	11.0	4.0	5.6
2018/2 会社予	5,700~6,400	0.1~12.4	800~1,200	13.1~69.7	800~1,200	9.8~64.8	500~800	4.3~66.9	11.4~18.3	4.0~6.0	
SBI旧予	6,000	5.4	980	38.6	1,000	37.4	620	29.4	14.2	4.0	6.8
SBI新予	6,200	8.9	1,030	45.7	1,050	44.2	720	50.3	16.5	5.0	8.0
2019/2 SBI旧予	6,800	13.3	1,480	51.0	1,500	50.0	930	50.0	21.3	4.0	9.6
SBI新予	7,000	12.9	1,580	53.4	1,600	52.4	1,090	51.4	24.9	8.0	11.3
2020/2 SBI予	7,200	2.9	1,650	4.4	1,670	4.4	1,140	4.6	26.1	8.0	11.0

注:EPSは自己株式を除くベース

(4) 業績動向

2017/2期は次の業績ピークに向けての準備期間

2017/2期は会社予想およびSBI証券予想も下回る前期比減収減益の厳しい決算となった。しかし、当期は、そもそも次の業績ピークに向けての準備期間との位置付けであった。この決算数値により、当社の中長期的な業績見通しがネガティブになることはないと考えられる。むしろ、2018/2期、2019/2期に向けての新コンテンツ開発推進を評価している。

女性向けコンテンツのグッズ部門の売上は過去最高を記録

2017/2期は当社の主力コンテンツである「うたの☆プリンスさまっ♪」を中心とした女性向けコンテンツのグッズ部門の売上は、過去最高を記録し、非常に好調だった。しかし、他社ライセンスのグッズ部門の売上が低調だった。大ヒットした「ラブライブ!」が新シリーズ(「ラブライブ!サンシャイン!!」)に移り減速、他に目ぼしいヒット商品もなかったことが響いた。また、ゲーム部門において、プレイステーションヴィータ専用ゲームソフト「うたの☆プリンスさまっ♪Repeat LOVE」は本数減少を単価上昇でカバーし、計画通りの売上を確保したが、「神々の悪戯 InFinite」、「マジきゅんっ!ルネッサンス」が不振で大幅な減収となった他、トレーディングカードゲーム「Z/X -Zillions of enemy X- (ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス)」も苦戦した。

シャニライは期半ばぐらいには配信開始か

2018/2期は前期比増収増益を予想。マーケットの期待が高まっているシャニライは、3月の「AnimeJapan 2017」に続き、5月3～5日にプロッコリーガールズショップ(渋谷マルイ)においても先行試遊会の開催を予定しており、期半ばぐらいには配信開始されるのではないかと予想している。KLabとの共同開発でゲームからの直接的な収益はロイヤルティのみ(逆に言えばリスクも限定的)だが、当社が得意としているゲームに関連した音楽CDやグッズなどの販売での収益拡大が見込まれよう。また、売上が低迷しているトレーディングカードゲーム『Z/X (ゼクス) -Zillions of enemy X-』についても、人気イラストレーターの藤真拓哉氏による新規コミカライズを予定しており、巻き返しが期待されよう。

スマホゲームの場合は、ヒットすれば長期間に亘り、継続的に多くの人の目に触れることができる。ゲームの中でのマーケティングもできれば、継続的に新商品(音楽CD、グッズなど)を投入していくこともできる。課金収入に依存しないスマホゲームの新たなビジネスモデルになる可能性もあり、SBI証券では注目している。

ハピネットとの新コンテンツの展開が注目されよう

2019/2期も前期比増収増益を予想。シャニライが通年で寄与、グッズやCDなど関連商品の販売も本格化しよう。また、ハピネットと共同開発を行っている新コンテンツについては、アニメ・ゲーム・カードゲーム・CD・グッズ・フィギュア・周辺サプライなどマルチメディア展開の開始を予定している。この新コンテンツについては、まだ具体的な発表はなく、予想に織り込むことは困難だが、「うたの☆プリンスさまっ♪」に並ぶ柱に育てようと、海外展開も視野に入れて、多くの経営資源(人・資金)を注ぎ込んでおり、一定のヒットは期待できるのではないかと考えている。SBI証券では、不透明な部分が大きいことから、控え目に業績予想に織り込んでいる。

2020/2期は小幅の前期比増収増益を予想している。シャニライ、ハピネットとの新コンテンツが引き続き業績に寄与するとみていることに加えて、手元資金は十分にあり、新たな他のコンテンツの展開を開始している可能性もあろう。

会社側の経営陣には、中期的に売上高・利益を2倍に、従業員給与をアップするという、これまでになく意欲的に事業拡大を進めようとの意志が感じられるようになってきた。まだ具体的なものが見えない中で、業績予想に大きく織り込むことはできないため、SBI証券予想は保守的に見積もっているが、ヒットビジネスであり、1本当たれば、2019/2期、2020/2期の業績は大きく飛躍している可能性もあることには留意しておきたい。

図表1 損益計算書(年度)

(百万円)

年度	2014/2期		2015/2期		2016/2期		2017/2期		2018/2期		2019/2期		2020/2期	
		構成比		構成比		構成比		構成比	予	構成比	予	構成比	予	構成比
売上高	6,786	100.0	6,256	100.0	6,429	100.0	5,692	100.0	6,200	100.0	7,000	100.0	7,200	100.0
売上原価	3,369	49.6	3,554	56.8	4,088	63.6	3,788	66.5	3,920	63.2	4,120	58.9	4,200	58.3
売上総利益	3,416	50.3	2,702	43.2	2,340	36.4	1,904	33.5	2,280	36.8	2,880	41.1	3,000	41.7
販売費及び一般管理費	1,265	18.6	1,232	19.7	1,330	20.7	1,196	21.0	1,250	20.2	1,300	18.6	1,350	18.8
営業利益	2,151	31.7	1,470	23.5	1,010	15.7	707	12.4	1,030	16.6	1,580	22.6	1,650	22.9
営業外収益	1	0.0	18	0.3	37	0.6	76	1.3	75	1.2	75	1.1	75	1.0
受取利息及び配当金	1	0.0	1	0.0					1	0.0	1	0.0	1	
不動産賃貸料			1	0.0	34	0.5	67	1.2	67	1.1	67	1.0	67	0.9
受取補償金														
その他			15	0.2	2	0.0	7	0.1	7		7		7	
営業外費用	2	0.0	3	0.0	57	0.9	55	1.0	55	0.9	55	0.8	55	0.8
支払利息	2	0.0	1	0.0	1	0.0			1	0.0	1	0.0	1	0.0
株式交付費					17	0.3								
不動産賃貸費用			1	0.0	38	0.6	54	0.9	54	0.9	54	0.8	54	0.8
その他														0.0
経常利益	2,150	31.7	1,484	23.7	989	15.4	728	12.8	1,050	16.9	1,600	22.9	1,670	23.2
特別利益														
特別損失	1	0.0	3	0.0										
税金等調整前当期純利益	2,149	31.7	1,480	23.7	989	15.4	728	12.8	1,050	16.9	1,600	22.9	1,670	23.2
法人税等合計	240		576		367		248		330		510		530	
(税率)	11.2%		38.9%		37.1%		34.1%		31.4%		31.9%		31.7%	
当期純利益	1,908	28.1	904	14.5	622	9.7	479	8.4	720	11.6	1,090	15.6	1,140	15.8
EPS(円)	58.31		27.64		17.67		10.96		16.46		24.92		26.06	
DPS(円)	13.0		6.5		4.0		4.0		5.0		5.0		6.0	
配当性向	22.3%		23.5%		22.6%		36.5%		30.4%		20.1%		23.0%	
EBITDA	2,178		1,536		1,208		818		1,151		1,701		1,771	
減価償却費	27		55		218		90		100		100		100	
増減率(yoy %)														
売上高	55.2%		-7.8%		2.8%		-11.5%		8.9%		12.9%		2.9%	
営業利益	157.9%		-31.7%		-31.3%		-30.0%		45.7%		53.4%		4.4%	
経常利益	158.1%		-31.0%		-33.4%		-26.4%		44.2%		52.4%		4.4%	
当期純利益	117.6%		-52.6%		-31.2%		-23.0%		50.3%		51.4%		4.6%	
EBITDA	149.2%		-29.5%		-21.4%		-32.3%		40.7%		47.8%		4.1%	

図表2 損益計算書(四半期)

(百万円)

年度	2016/2期				2017/2期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,611	1,191	1,314	2,313	1,076	1,710	1,008	1,898
売上原価	982	845	846	1,415	745	1,101	674	1,268
売上総利益	629	345	468	898	331	608	334	631
販売費及び一般管理費	358	280	309	383	270	303	305	318
営業利益	270	65	160	515	60	306	29	312
営業外収益	1	11	9	16	16	19	17	24
受取利息及び配当金								0
不動産賃貸料		9	9	16	16	17	17	17
受取補償金								0
その他		2	0	0		1		6
営業外費用	2	14	14	27	17	13	12	13
支払利息			1					0
株式交付費				17				0
不動産賃貸費用	2	14	12	10	17	12	12	13
その他								0
経常利益	268	63	155	503	59	313	33	323
特別利益								0
特別損失								0
税金等調整前当期純利益	268	63	155	503	59	313	33	323
法人税等合計	94	24	57	192	29	103	11	106
当期純利益	174	38	99	311	29	210	22	218

出所：対象会社の公表資料を基にSBI証券投資調査部作成

図表3 貸借対照表

年度	(百万円)							
	2013/2期	2014/2期	2015/2期	2016/2期	2017/2期	2018/2期 予	2019/2期 予	2020/2期 予
流動資産	2,443	4,189	3,131	4,528	7,404	8,188	8,894	9,205
現金及び預金	1,553	3,284	1,852	3,370	6,624	6,388	6,394	6,605
売掛金	600	677	877	809	463	800	1,000	1,000
たな卸資産	92	94	230	227	214	500	1,000	1,050
その他	198	134	172	122	103	500	500	550
固定資産	244	300	2,105	5,151	2,087	2,148	2,252	2,806
有形固定資産	32	32	1,871	1,990	1,944	1,898	1,852	1,806
建物(純額)	9	15	934	1,044	998	952	906	860
土地	1	1	907	907	907	907	907	907
その他	22	16	30	39	39	39	39	39
無形固定資産	57	101	157	35	18	100	200	500
投資その他の資産	154	166	75	3,126	123	150	200	500
長期預金				3,000				
その他	154	166	75	126	123	150	200	500
資産合計	2,687	4,490	5,236	9,680	9,491	10,336	11,146	12,011
流動負債	744	936	1,209	1,161	668	1,015	1,085	1,160
買掛金	256	226	315	540	322	350	350	350
返品調整引当金	37	34	34	73	57	80	90	100
賞与引当金	21	25	29	33	36	45	50	60
役員賞与引当金	36	56	37	25	35	40	45	50
その他	394	595	794	490	218	500	550	600
固定負債	147	43	38	61	59	60	60	60
負債合計	892	980	1,247	1,222	728	1,075	1,145	1,220
株主資本	1,795	3,508	3,988	8,456	8,761	9,261	10,001	10,791
資本金	330	331	331	2,361	2,361	2,361	2,361	2,361
資本剰余金	36	37	37	2,066	2,066	2,066	2,066	2,066
利益剰余金	1,427	3,140	3,619	4,029	4,333	4,834	5,574	6,364
自己株式								
評価その他差額					1			
純資産合計	1,795	3,509	3,988	8,457	8,763	9,261	10,001	10,791
負債純資産合計	2,687	4,490	5,236	9,680	9,491	10,336	11,146	12,011
自己資本比率	66.8%	78.2%	76.2%	87.4%	92.3%	89.6%	89.7%	89.8%
BPS(円)	54.86	107.21	121.84	193.38	200.36	211.74	228.66	246.73
有利子負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0

出所：対象会社の公表資料を基にSBI証券投資調査部作成

本レポートに関するご注意事項

【目標株価・レーティングについて】

目標株価は、弊社のアナリストが今後6カ月から1年の期間に達すると予想している株価水準です。投資判断(レーティング)の定義は以下の通りです。対象期間は今後6カ月から1年間とします。

強気: 目標株価が現在の株価を20%以上上回ると判断する銘柄

やや強気: 目標株価が現在の株価を10%以上～20%未満上回ると判断する銘柄

中立: 目標株価と現在の株価の差が±10%未満の範囲内にあると判断する銘柄

やや弱気: 目標株価が現在の株価を10%以上～20%未満下回ると判断する銘柄

弱気: 目標株価設定・目標株価が現在の株価を20%以上下回ると判断する銘柄

NR: 投資判断を実施しない銘柄

※本レーティングは当社アナリストが対象会社を評価・分析した結果算出した目標株価をベースにした絶対評価になります。

※目標株価の根拠についてはレポート本文をご参照ください。

【利益相反関係発生の可能性】

SBI証券及びその関連する会社は、本レポートに記載された企業に対して投資銀行業務に関するサービスを提供する等、同企業と取引を行なっている、または今後行なう可能性があります。したがって、本レポートを閲覧される投資家の皆さまは、本レポートの客観性に影響を与える利益相反関係が当社に発生する可能性があることを予めご了承ください。本レポートはあくまでも投資判断の参考のための一つの要素としてご参照ください。

【重要な開示事項】

・保有株式等について

当社は、レポートに掲載されている銘柄の株式について、今後保有し、または売買する可能性がございます。

当社が発行済株式総数の5%を超える株式等を保有しているとして大量保有報告を行なっている銘柄は当社WEBサイト

(URL: http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html)にてご確認ください。

・主幹事担当会社について

平成27年3月以降、募集・売出し(普通社債を除く)にあたり、株式会社SBI証券が、主幹事となっている銘柄は当社WEBサイト

(URL: http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html)にてご確認ください。

※WEBサイトを閲覧可能な環境にない方は下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

・株式会社SBI証券 カスタマーサービスセンター: 0120-104-214

※携帯電話・PHSからは0570-550-104(ナビダイヤル)をご利用ください。

※ナビダイヤルは20秒10円(税抜)の通話料がかかります。

・年末年始を除く平日8:00～18:00

【その他留意事項】

本資料は日本国内の投資家向けに投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個別の銘柄の売買推奨や、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。過去の実績値にもとづき推定された将来のパフォーマンス等に関する内容はあくまでもシミュレーションであり、お客さま個人個人の運用成果等を保証または示唆するものではありません。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

【手数料及びリスク情報等】

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法に係る表示は下記の当社WEBサイトをご参照ください。

(URL: https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html)

商号等: 株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号: 関東財務局長(金商)第44号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会